

2019年度 活用論文・実践記録集 がっぴょうかい 合評会のご案内

日本交流分析協会関西支部 支部長 小原 豊子
論文支援委員会 委員長 山本 昭一

関西支部結成から23年を迎え、「活用論文・実践記録集」は22巻目を発刊できました。執筆者のべ177名の中から、多くの指導会員が生まれ、支部活動の原動力となっている輝かしい伝統があります。作成を担当した「論文支援委員会」の活動は5年目を迎え、「活用論文・実践記録集」として広く呼びかけて5巻目となり、着実に歴史を刻んでいます。



今年度も、論文の作成支援を目的に「合評会」を開催します。論文作成は「実践記録」から始まります。実践記録は、交流分析を活用して気づいた日常の記録です。『活用論文・実践記録集』は、それらをまとめた貴重な資料です。それを教材に、交流分析をより深く理解し、実践していきたいと思えます。皆さんのご参加をお待ちしています。

今回の合評会では、『活用論文・実践記録集 Vol. 22』にまとめられた論文を教材に、気づいたことを学び合います。特に今年度は、論文の形式に従って具体的に修正することを体験します。また、統計分析ができるアンケートのつくり方等にもお応えします。



今年の実践を記録し、活用論文にまとめるスタートの学習会です。興味を持たれた方は、どうぞ気楽にご参加ください。

記

対 象 交流分析の実践記録・活用論文を執筆してみたい会員（会員資格を問いません）

日 時 2019年7月13日（土） 13:30~16:00

会 場 関西支部 研修室

参加料 2,000円（当日受付で） 申込締切 7月11日（木）

内 容

- 『Vol. 22』の大塚論文『ベンチコミュニケーションと交流分析』を教材に、「目的」「方法」「結果」「考察」の形式に準じた「論文の書き方」について学び合います。
 - データの集め方や統計による分析についても、ご質問にお応えします。
- ご質問のある方は、事前にメールにご記入いただければ、当日準備することができます。

申し込み（ 関西支部事務局 FAX.06-6375-1002 または メール：info@takan31.com ）

| | | | |
|-----|---|------|-----|
| お名前 | | 連絡 | () |
| メール | @ | 会員資格 | |

※いただいた個人情報は、合評会の連絡以外には使用いたしません。